



早いもので今年も7月になりました。長く続いた外出自粛の間に桜の季節もホテルの季節も過ぎて、梅雨の晴れ間夏のまぶしい陽射しに目が眩みます。

6月24日まで開催された市議会定例会において、令和2年度一般会計補正予算が成立しました。コロナウイルス感染拡大の懸念から、市内では三嶋大祭りをはじめ多くのイベントが中止となり、緊急の感染症予防対策や経済対策を追加するなど大きく予算を増加、組替えることになりましたが、市議会のご協力により速やかに可決され、地域経済の回復に向けた緊急対策にも迅速に取り組むことが出来ました。引き続き市民生活の安心と安定に努めるとともに、新しい生活様式に伴う社会経済情勢の変化を積極的に捉え三島市の発展と地域経済の活性化に繋げてまいります。

6月15日『三島駅南口東街区再開発事業に係る都市計画決定・変更(原案)』の説明資料を公表しました。市ホームページや市役所、生涯学習センター、北上・中郷・錦田・坂の各公民館で閲覧できます。これは感染予防のため開催が見送られた説明会に代えて、市民の皆様の詳細を説明するものです。再開発事業は将来の発展への投資です。是非、計画の詳細を正しく知り、三島の将来へ想いを馳せていただきたいと思います。

三島市長 豊岡 武士

三島市のコロナウイルス感染症対策予算

三島市では、コロナ関連対策として121億円を越す予算を組み子育てや福祉等生活安定のための支援、事業経営者への経済支援、消費喚起のための事業などをきめ細かく実施しています。すでに国庫補助金として特別定額給付金、子育て世帯臨時特別給付金、コロナ対策地方創生臨時交付金など約117億3000万円、県からコロナ拡大防止補助金など約1億2000万円が手当され、市でも財政調整基金からの繰入金等を財源に充てることになっています。さらに、国からの追加の交付金を活用して、充実した対策を実施していく予定です。詳細は新型コロナウイルス感染症対策室まで。

【主な対策と予算】

○感染症予防対策（約4億2千万円）

- ・感染拡大防止協力金（自主的休業店舗への協力金）
 - 県の休業要請対象店舗 20万円×200店（県協力金20万円別途）
 - 市の休業要請対象店舗 40万円×600店（県の要請対象外店舗等）
- ・介護サービス事業者、障がい福祉サービス事業者への報償金
 - 市内に1事業所みの法人 10万円×50法人
 - 市内に2事業所以上の法人 20万円×66法人
- ・コロナ対策のための消耗品および備品の購入
 - 小中学校、幼稚園・保育園、地域子育て支援拠点、避難所等

○経済対策（約4億8千万円）

- ・経済変動特別対策資金利子補給補助（市内中小企業の支援）
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止奨励金
 - 国の持続化給付金対象外の事業者 10万円×2,500事業者
- ・プレミアム付商品券発行事業補助金（市内産業活性化と消費喚起）
 - プレミアム分1億6000万円、ダブルプレミアム分500万円
- ・市内宿泊施設に対する事業継続のための支援 40万円×15施設
- ・地域飲食店等支援事業費補助金、リスタート支援事業費補助金等

○生活安定対策（約112億3千万円）

- ・特別定額給付金 全国民に一律10万円の給付（市内95%以上完了）
- ・子育て世帯臨時特別給付金 1万円×12,792人
- ・児童扶養手当臨時特別給付金 2万円×1,030人（一人親世帯対象）
- ・公共交通事業者報奨金 10万円×9事業者（保有台数により加算有）

トピックス みしま

◇「境川・清住緑地」展望デッキ オープン

三島市と清水町の境を流れる境川沿いの『境川・清住緑地』。富士山の湧水や多様な動植物が生息するビオトープ等が、市街地にある緑地として地元の方々を中心に親しまれ守られています。平成24年には静岡県に緑地拡張を要望し、平成27年度に発足した「三島市・清水町“水の郷構想”検討会」が中心となり住民参加のワークショップを開催しながら、豊かな自然環境を保存しさらなる水辺空間を創造するための整備を進めてきました。7月中に拡張エリアの工事が完了し、8月1日(土)には湧水を間近で楽しめる展望デッキもオープンします！

◇「富士山三島東急ホテル」が開業します

三島駅周辺グランドデザインに基づき、広域観光交流拠点として整備が進められている三島駅南口西街区に、6月30日(火)富士山・箱根西麓・駿河湾の眺望を最大限に活かした「富士山三島東急ホテル」が開業します。施設の低層階には、箱根西麓三島野菜や駿河湾の海鮮を提供する店舗などが入る商業施設「ミトワみしま」を併設し、地域の魅力を味わえる・誰もが憩える空間が創出されています。開業を記念した『静岡県民限定プラン』(7月1日～9月30日)も用意されています。是非、この機会に三島の新たなシンボルを訪れてみてください。

※湧水をモチーフに「水(み)の都」と「和」・「輪」をつないで「ミトワ」

◇静岡トヨタ自動車販売店等、トヨタ関連9社との

地方創生に関する包括連携協定締結

7月16日、乗用車からフォークリフトまで様々な車両を保有し市内に複数の店舗を有する、トヨタ自動車関連の9社と包括連携協定を締結します。まずは車両を活用した電力供給など防災や災害時の協力体制の構築を進めるほか、8月頃からはカーシェアの仕組みを試験的に導入して様々なデータを集め、公用車の効率的な運用を検討する等、トヨタの持つ多様な保有車両とノウハウを活かし、行政の効率化や環境保全、健康増進など多方面にわたる地方創生の事業に協働で取り組みます。

◇夏の交通安全県民運動 7月11日～20日

「危険を予測した“かもしれない”運転と歩行の周知」「～だろう」という思い込みではなく、「～かもしれない」と相手の動きや危険を予測した行動をとることが交通事故防止の第一歩です。期間中は感染防止に努めながら、街頭広報や商業施設・各駐車場等でドライバーや歩行者に呼び掛けます。

『キャッチャー』配布再開について

全国で緊急事態宣言が解除され県境を越えての移動自粛の要請も緩和されました。商店の営業や市内公共施設の利用も再開し、4カ月ぶりに市民活動が戻ってきました。新しい生活様式を取り入れ、引続き手洗いの励行と場に応じたマスクの着用が求められていますが、休息・栄養を十分に取り、適度な運動を心がけて体調管理に努めて、コロナに負けずに過ごしてまいりましょう。



『後援会だより・キャッチャー』は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため長らく紙面での配布を休止していましたが、7月号より配布を再開いたしました。この間はホームページでご覧いただく等、ご不便をおかけいたしました。

毎月、7000部を地域の皆様のお手元まで直接届けてくださる方がいて、読んでくださる皆様がいたことを改めて感じる日々でした。お一人お一人に心より感謝申し上げます。

配布にあたり、皆様には引き続きお手数をおかけいたしますが、よろしくお願ひします。新たに、お近くの知人・友人にお配りいただける方は事務所までご連絡ください。月末ごとに必要部数をお届けいたします。

豊岡たけし後援会会長 杉山 徹

三島市長 〒411-0035 三島市大宮町2-14-20
豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>